

無線アクセスシステム方式比較表

方式	IEEE802.16-2004	IEEE802.16e	IEEE802.11b	IEEE802.11g	IEEE802.11a	IEEE802.11j	IEEE802.11n
	WiMAX(FWA版)	WiMAX(モバイル版)	WiFi	WiFi		802.11aの日本向け規格	?
用途 ※ 3	MAN、ラストワンマイル	MAN、高速モバイル通信	LAN、宅内、ホットスポット等	LAN、宅内、ホットスポット等	LAN、宅内、ホットスポット等	LAN、宅内、ホットスポット・FWA	?
帯域幅	～20MHz	～20MHz	22MHz	22MHz	20MHz	20MHz	20/40MHz
多元接続方式	TDMA、OFDMA	TDMA、OFDMA、SOFDMA	CSMA/CA	CSMA/CA	CSMA/CA	CSMA/CA	?
全2重通信方式	TDD、FDD	TDD、FDD	(半2重通信)	(半2重通信)	(半2重通信)	(半2重通信)	?
最大伝送速度	75Mbps※4	75Mbps※4	11/22Mbps	54Mbps	54Mbps	54Mbps	～300/～600Mbps
伝送距離	～10km	～5km	100m	100m	?	～数km	?
ハンドオーバー	×	○	△※1	△※1	△※1	△※1	?
アドホック機能	×	×	○	○	○	△アドホック禁止	?
出力						250mW以下	
周波数帯	(フォーラム)2.3G、2.5G、3.5G、5.8G (国内)4.9G	(フォーラム)2.3G、2.5G、3.5G、5.8G (国内)2.5G?	2.4GHz	2.4GHz	5.2GHz	4.9G-5.0G 5.03G-5.091G※2	
免許	要 (一部地域で登録)		不要	免許不要	屋内利用に限り不要	免許(届出制)、屋外利用も可	?
備考	国内の4.9G帯ではキャリアセンス機能を付加する。					2002年8月の電波法施行規則等の一部改正、および周波数割当の変更にともない、4900MHz～5000MHzの屋外利用が認められるようになった。	2006年3月19日にIEEEの会合で次世代無線LAN規格「IEEE 802.11n」のドラフト版が採択

※1:同一LAN内でのローミング

※2:2007年11月末までの時限解放

※3:LAN local Area Network. MAN:Metropolitan Area Network.

※4:製品(帯域の使用法)により大きく異なる。

※5:国内では他に公共無線アクセスシステム(18GHz帯、最大156Mbps程度、最長2km程度)及び通信事業用加入者系無線アクセスシステム(22/26/38GHz帯、最大46Mbps程度、最長1km程度)が利用されている。

